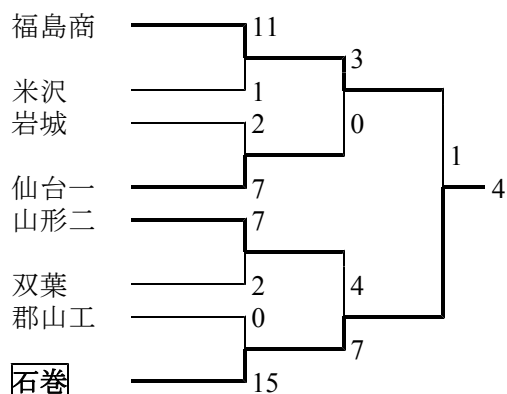


昭和23年～昭和32年までの奥羽大会(青森・秋田・岩手)
 昭和34年～47年までの北奥羽大会(青森・岩手)については、
 「硬式選手権 昭和23年～」に掲載。

昭和23年 1948年 (第30回全国高等学校野球選手権大会)

第30回全国高等学校野球選手権東北予選
 (8月2日～4日：福島市営球場)

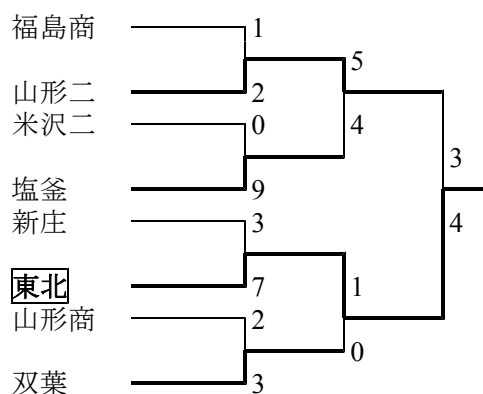


昭和23年 学制改革(6・3・3制)により
 従来の中学校は高等学校になる。
 これに伴い大会名を
 「全国高等学校野球選手権大会」と改める。
 「栄冠は君に輝く(全国高等学校野球大会の歌)」
 を新大会歌として制定する。

石巻高校が全国大会出場

昭和24年 1949年 (第31回全国高等学校野球選手権大会)

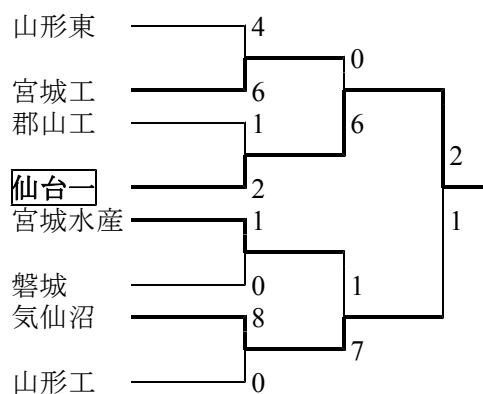
第31回全国高等学校野球選手権東北予選
 (8月2日～4日：山形市営球場)



東北高校が全国大会出場

昭和25年 1950年 (第32回全国高等学校野球選手権大会)

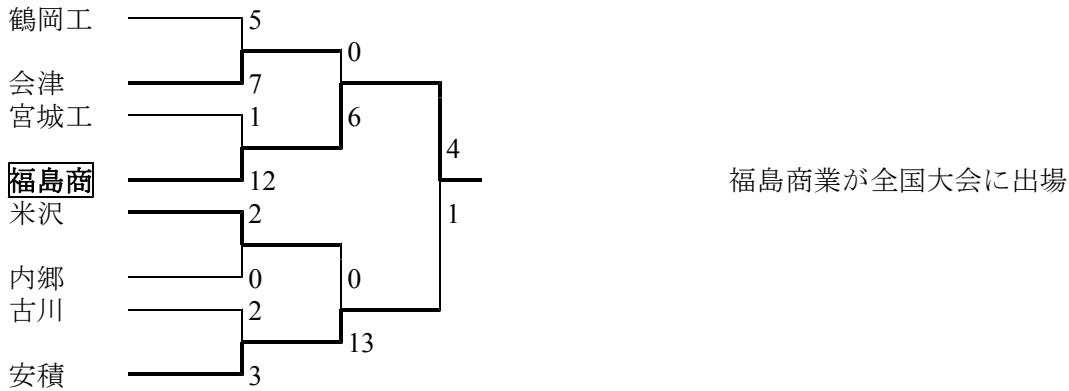
第32回全国高等学校野球選手権東北予選
 (7月29日～8月1日：仙台市営球場)



仙台一高が全国大会出場

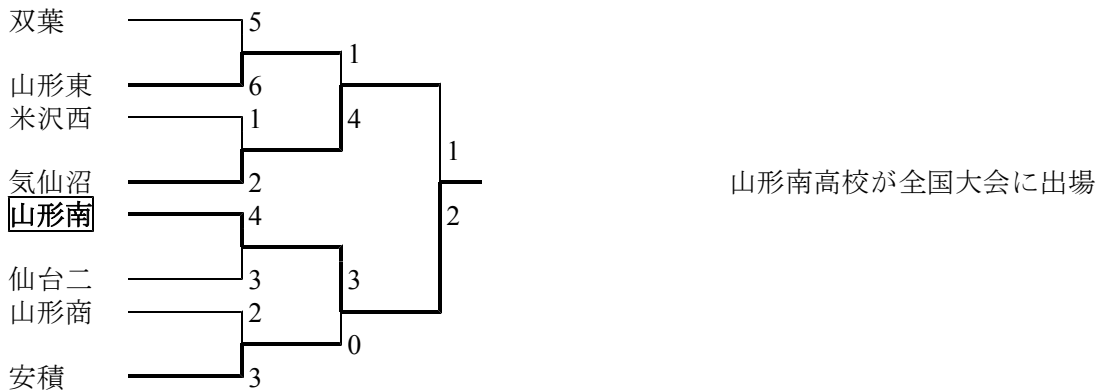
昭和26年 1951年 (第33回全国高等学校野球選手権大会)

第33回全国高等学校野球選手権東北予選
(8月3日～8月5日：福島県信夫丘球場)



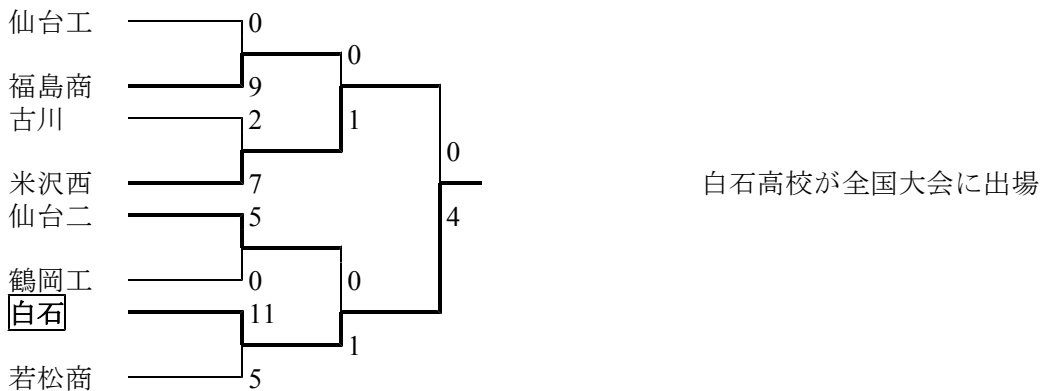
昭和27年 1952年 (第34回全国高等学校野球選手権大会)

第34回全国高等学校野球選手権東北予選
(8月1日～8月5日：山形市営球場)



昭和28年 1953年 (第35回全国高等学校野球選手権大会)

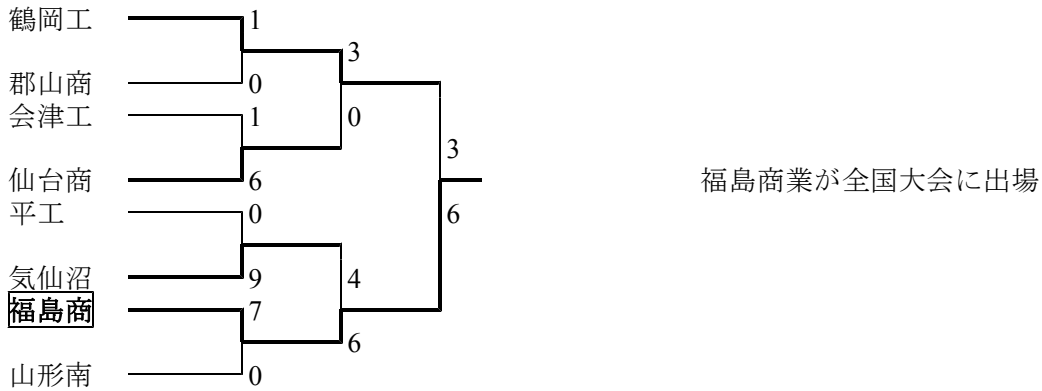
第35回全国高等学校野球選手権東北予選
(8月1日～8月3日：仙台宮城球場)



昭和29年 1954年 (第36回全国高等学校野球選手権大会)

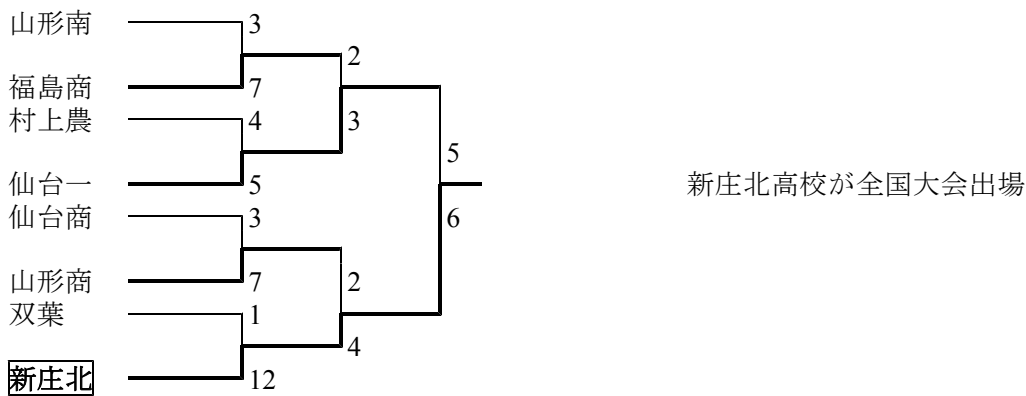
岩手県高等学校野球連盟

第36回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月31日～8月2日：福島信夫丘球場)



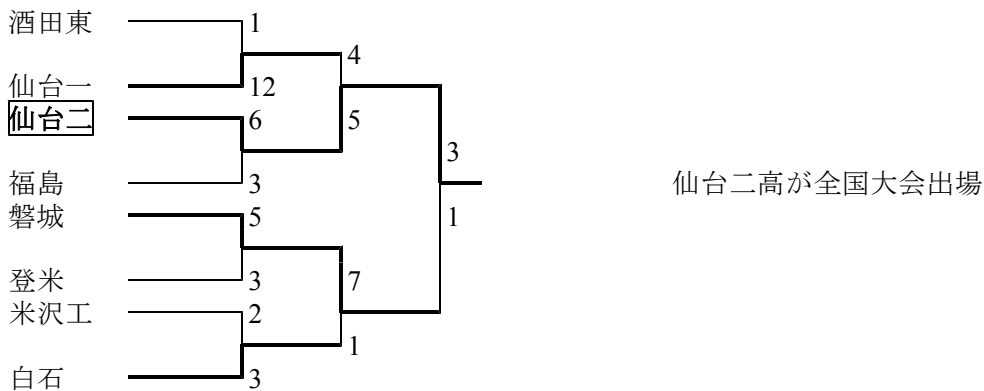
昭和30年 1955年 (第37回全国高等学校野球選手権大会)

第37回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月31日～8月3日：山形市営球場)



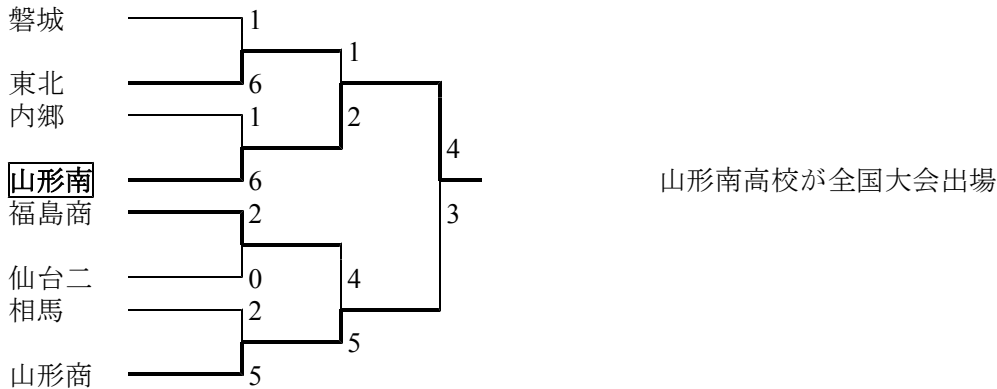
昭和31年 1956年 (第38回全国高等学校野球選手権大会)

第38回全国高等学校野球選手権東北予選
(8月1日～8月3日：仙台宮城球場)



昭和32年 1967年 (第39回全国高等学校野球選手権大会)

第39回全国高等学校野球選手権東北予選
(8月2日～8月4日：福島信夫丘球場)



昭和33年 1958年 (第40回全国高等学校野球選手権記念大会)

第40回全国高等学校野球選手権東北予選
記念大会のため地区大会は開催されず。(各県大会優勝校が全国大会出場)

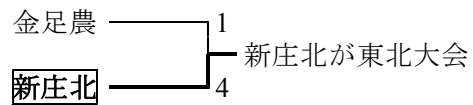
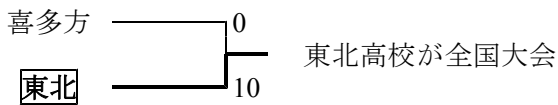
- 青森県 東奥義塾高校
- 秋田県 秋田商業高校
- 岩手県 福岡高校
- 山形県 山形南高校
- 宮城県 東北高校
- 福島県 福島商業高校 が全国大会に出場：会場は阪神甲子園球場と西宮球場を併用

昭和34年 1959年 (第41回全国高等学校野球選手権大会)

岩手・秋田・青森(奥羽大会)、山形・宮城・福島(東北大会)の2大会制から
青森・岩手(北奥羽大会)、秋田・山形(西奥羽大会)、宮城・福島(東北大会)の3大会制になる。
東北6県から3校が出場するようになった。※記念大会は各県1校。

第41回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月31日：宮城球場)

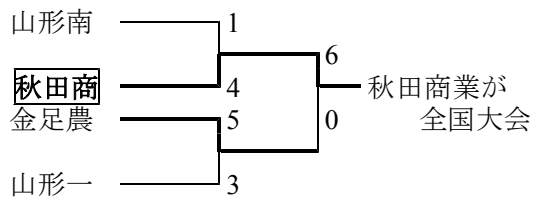
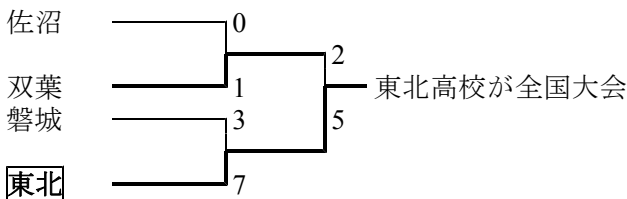
<西奥羽大会：7月31日秋田市八橋>



昭和35年 1960年 (第42回全国高等学校野球選手権大会)

第42回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月30日～31日：福島信夫丘球場)

<西奥羽大会>

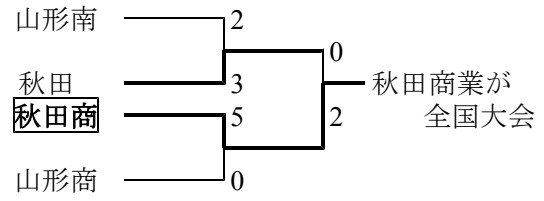
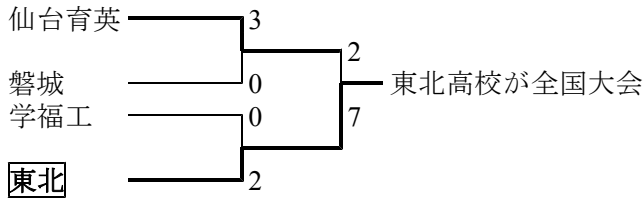


昭和36年 1961年 (第43回全国高等学校野球選手権大会)

岩手県高等学校野球連盟

第43回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月31日～8月1日：宮城球場)

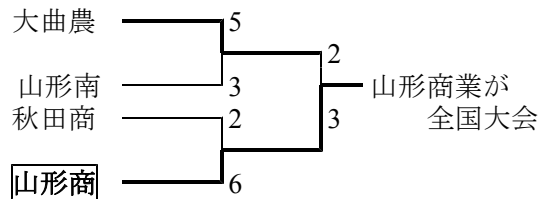
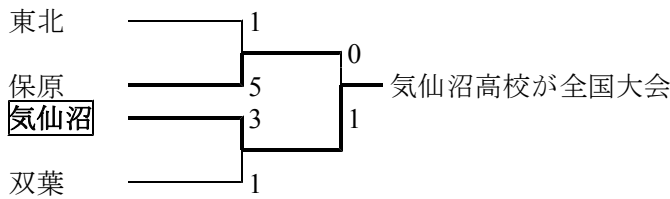
<西奥羽大会>



昭和37年 1962年 (第44回全国高等学校野球選手権大会)

第44回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月28日～7月29日：信夫丘球場)

<西奥羽大会：7月28日・29日>
山形市営球場



昭和38年 1963年 (第45回全国高等学校野球選手権大会)

記念大会のため地区大会は開催されず。各県大会優勝校が全国大会出場した。

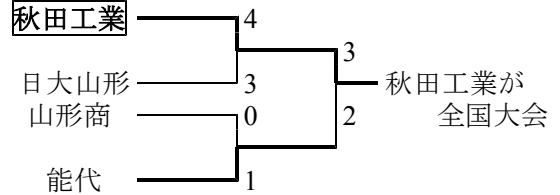
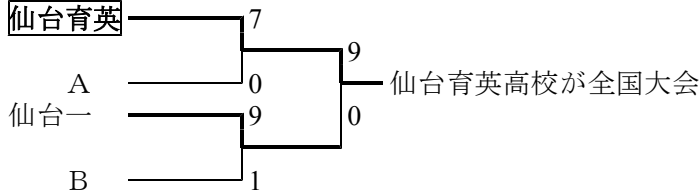
- 青森県 東奥義塾高校
- 秋田県 能代高校
- 岩手県 花巻北高校
- 山形県 日大山形高校
- 宮城県 仙台育英高校
- 福島県 磐城高校 が全国大会に出場：会場は阪神甲子園球場と西宮球場を併用

昭和39年 1964年 (第46回全国高等学校野球選手権大会)

第46回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月30日～7月31日：宮城球場)

<西奥羽大会>

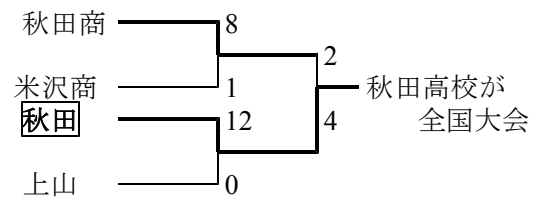
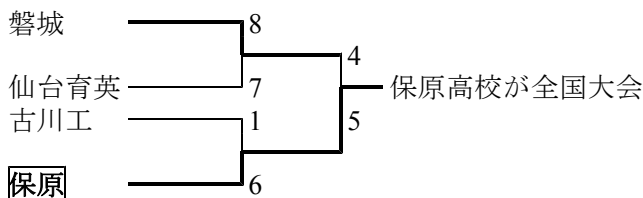
田村と平工がABに入る。(不明)
決勝は仙台育英9-0仙台一である



昭和40年 1965年 (第47回全国高等学校野球選手権大会)

第47回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月30日～7月31日：福島信夫丘球場)

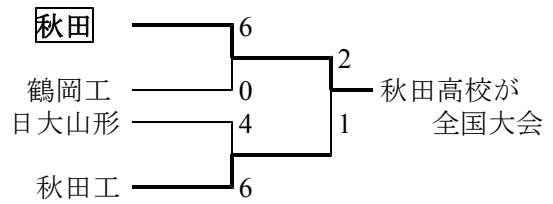
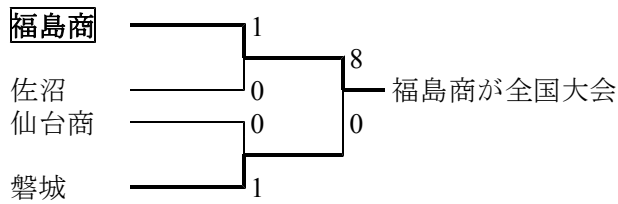
<西奥羽大会>



昭和41年 1966年 (第48回全国高等学校野球選手権大会)

第48回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月30日～7月31日：宮城県営球場)

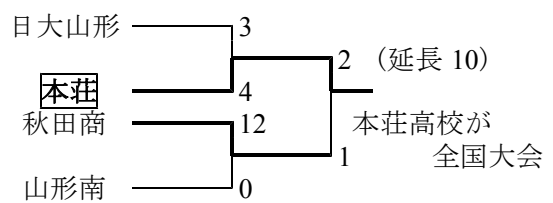
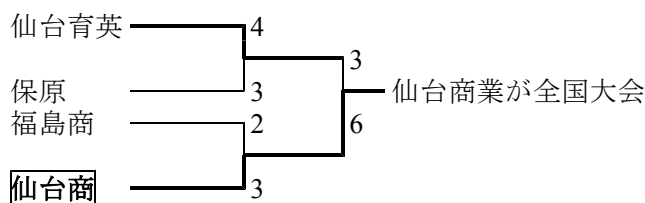
<西奥羽大会>



昭和42年 1967年 (第49回全国高等学校野球選手権大会)

第49回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月31日～8月1日：福島信夫丘球場)

<西奥羽大会>



昭和43年 1968年 (第50回全国高等学校野球選手権大会)

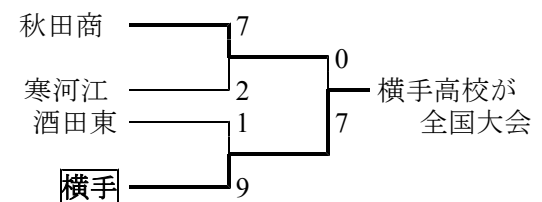
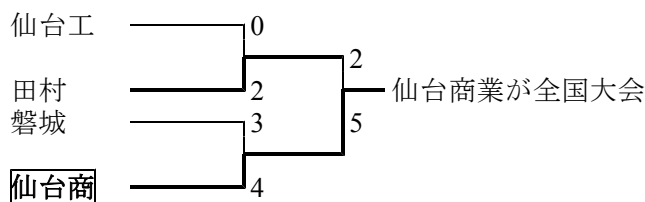
記念大会のため地区大会は開催されず。各県大会優勝校が全国大会出場した。

- 青森県 三沢高校
- 秋田県 秋田市立高校
- 岩手県 盛岡第一高校
- 山形県 日大山形高校
- 宮城県 東北高校
- 福島県 磐城高校 が全国大会に出場

昭和44年 1969年 (第51回全国高等学校野球選手権大会)

第51回全国高等学校野球選手権東北予選
(8月1日～8月2日：宮城球場)

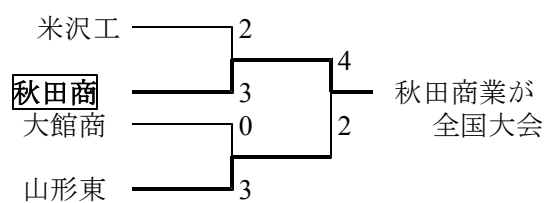
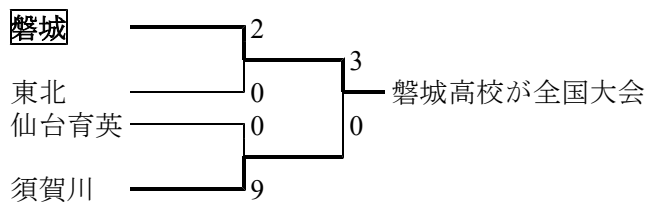
<西奥羽大会 7月31日・8月1日>
八橋球場



昭和45年 1970年 (第52回全国高等学校野球選手権大会)

第52回全国高等学校野球選手権東北予選
(8月1日～8月2日：福島開成山球場)

<西奥羽大会>

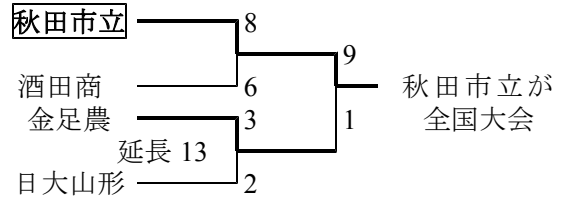
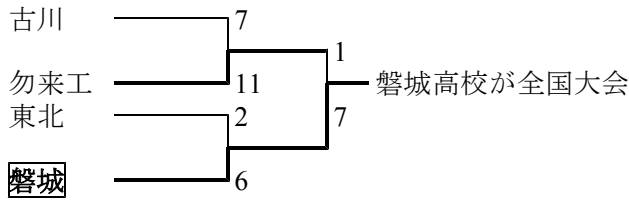


昭和46年 1971年 (第53回全国高等学校野球選手権大会)

岩手県高等学校野球連盟

第53回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月31日～8月1日：宮城県営球場)

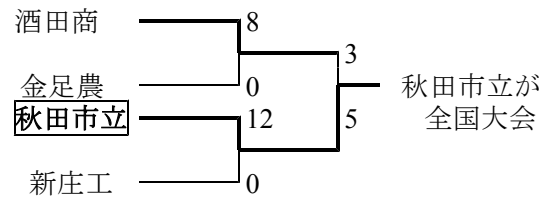
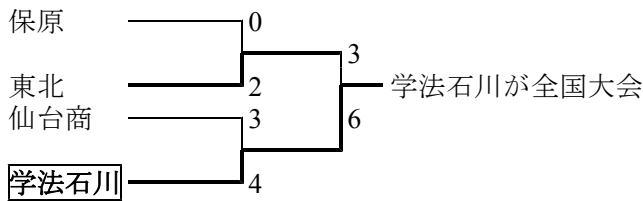
<西奥羽大会>



昭和47年 1972年 (第54回全国高等学校野球選手権大会)

第54回全国高等学校野球選手権東北予選
(7月30日～7月31日：福島信夫丘球場)

<西奥羽大会>



昭和48年 1973年 (第55回全国高等学校野球選手権大会)

記念大会のため地区大会は開催されず。各県大会優勝校が全国大会出場した。

- 青森県 青森商業高校
- 秋田県 秋田高校
- 岩手県 盛岡第三高校
- 山形県 日大山形高校
- 宮城県 仙台育英高校
- 福島県 双葉高校 が全国大会に出場

昭和49年～ 1974年～ (第56回全国高等学校野球選手権大会)

今大会以降、記念大会にのみ行われていた各県代表が全国区大会に出場する制度に移行し現在に至る。
東北・奥羽・北奥羽・西奥羽、と長年続いた大会はその役目を終える。
優勝旗などは最終年度の優勝校が永久保管とされる場合もあった。

岩手県高等学校野球連盟